

PROGRAM

四季のコンサート 秋

1961年長崎市出生率、父、山下 享 8歳才6才9

山下和也 (やました かずや)

一一一



山下和仁ギター・リサイタル

プレリュード・フーガ・アレグロ BWV 998

J・S・バッハ (1685 ~ 1750)

大バッハの作品となる七曲のリュート（ヴィウェラ）の為の一曲です。リュートは元々ギターの先輩格であります。同時代に作曲されたリュート組曲、無伴奏ヴァイオリンソナタ、バルテータ。同じくチェロソナタと比較して見ますと何か物足りない感じがする3部作の曲です。リュート組曲の幾つかの曲はヴァイオリン、チェロに転用され同化して今日バッハの大曲として残っています。顕著な例としてリュート組曲第3番BWV 995がチェロ組曲第5番ハ短調BWV 1011番となり同じく第4番BWV 1006aがヴァイオリンバルテータ第3番ホ長調BWV 1006となりリュート用フーガBWV 1000がヴァイオリンソナタ第1番BWV 1001の第2楽章フーガとなって現在盛んに演奏されています。バッハ時代リュートは明らかに衰退の時期にあったと見るべきでしょう。今夜演奏されるリュート組曲BWV 998の原曲は変ホ長調クラヴィーア用に書かれた（バッハの自筆譜が上野学園大学に所蔵されています）曲を山下さんはニ長調で演奏されます。

1. プレリュード8分の12拍子 2. フーガ4分の4拍子 3. アレグロ8分の3拍子シーグ風

祈祷と踊り

J・ロドリーゴ (1902 ~)

ロドリーゴはスペイン生れ。現存する作曲家の中では最高齢者になります。ギター協奏曲のアランフェス協奏曲はあまりにも有名です。この曲もギター用に書かれた一曲で、スペイン南部アンダルシア地方の数種の民俗音楽を基調として作曲され青年時代親交のあったファリャに捧げられています。

アルハンブラの想い出

F・タレガ (1852 ~ 1909)

もはや説明など必要としません。美しい流れる様なトレモロの連続で第一音から感動的です。タレガはロドリゴ同様スペイン、バレンシア地方の出身であります。この曲もギター用に書かれた一曲で、スペイン南部アンダルシアの古都グラナダを訪れ中世の回教寺院（宮殿）前庭の噴水をヒントに作曲されたと伝えられています。すべて美しいタレガの数多いギター曲の中でも珠玉の一編と云えるでしょう。

風色ベクトル (1991)

吉松 隆 (1953 ~)

「朱鷺によせる哀歌」、「鳥たちの時代」、「地球にて」などのオーケストラを作曲した戦後世代を代表する作曲家です。山下和仁さんのためには1985年ギター協奏曲「天馬効果」が作曲され第24回レコード・アカデミー賞を受賞しています。この曲も山下さんの為に作曲されました。今年1月8日、御茶の水カザルスホールの初演に引き続き大阪いずみホールでも披露され好評を得ています。曲はもともと現代的な曲趣で、ハーモニックス奏法が多用され、エネルギーッシュな作風は山下さんにピッタリです。

ラールゴ

おなじみの交響曲第9番ホ短調op. 95

A・ドヴォルザーク (1841 ~ 1904)

「新世界」の第2楽章です。壮大な交響曲新世界をギター一本で表現しているところは天才ギタリスト山下和仁の面目躍如たるものがあります。勿論ギターには6本の弦と12のフレットと云う制約があります。従ってこの曲はギターで表現したドヴォルザークのラールゴです。哀調にみちたpから始まり、メロディーがあり、ppのコーダで終る美しい曲です。

次の機会には1.2.3.4楽章全曲を聴けることを期待します。すでに4楽章全曲がC,Dで発売されています。

無番奏 チェロ組曲第6番 BWV 1012

J・S・バッハ (1685 ~ 1750)

1720年ケーテン時代の作品です。リュート、ヴァイオリンソナタ等が作曲された同時代の作品で、チェロ組曲六曲中の最後に位置します。対位法、美しい和声、重厚な重奏、歯切れのよいパッセージなどギターで演奏されるこの曲に新しい発見をすることでしょう。なかなかの難曲で生演奏で聴けることはめったにありません。

1. プレリュード
2. アルマンド
3. クーラント
4. サラバンド
5. ガボット (I, II)
6. ジーグ

ニ長調で演奏されます。

今夜はゆっくり鑑賞して下さい。